

むし歯と歯周病の予防・管理とPMTC

むし歯や歯周病の原因は、歯垢（プラーク）と呼ばれる細菌の塊です。細菌たちは自分が作り出したネバネバした物質で膜をつくり、その中で増殖しながら歯の表面にしっかりと定着しています。微生物が自分で作り出した物質を保護膜にしながら固形物に付着して集団生活していることを「バイオフィーム」といいますが、歯垢（プラーク）もバイオフィームです。

むし歯や歯周病を予防するためには、原因となっている歯垢（プラーク）を取り除くことが重要です。歯磨きなどのセルフケアはもちろんのこと、スクレーピング、ルートプレーニング、PMTCなど専門家による処置とケアが必要です。

Q どうして細菌バイオフィームは、専門家でないで除去できないの？

バイオフィームの特徴は、粘着性が強いことと、増殖する菌の力で薬剤が通らないことです。歯垢も歯ブラシで磨く程度では完全に落とすことができませんし、抗菌剤だけで除去することもできません。そこで開発されたのが『PMTC』です。

歯や歯肉を傷つけない特殊な器械を使い、バイオフィームを完全に落として歯面をツルツルに磨き、歯垢が付きにくい状態にします。計画的にPMTCの処置を受けることで、むし歯や歯周病を効果的に予防することができます。

Q PMTCは歯周病の進行を防ぎますか？

歯周病の原因は、歯肉にかくれて見えない部分（歯周ポケット）の歯垢や歯石で、空気が嫌いな細菌の塊です。医院では、スクレーピングやルートプレーニング（歯の根をツルツルにする処置）でポケット内の歯垢や歯石を除去し、PMTCでバイオフィームのないきれいなお口にします。

しかし「改善したからこれで終わり」ではありません。再発防止には生活習慣改善も必要です。定期的なPMTCと専門家による指導を受けて、お口の環境悪化を防ぎましょう。

Q 洗浄したあとフッ素を使うこともありますが、それはなぜですか？

フッ素には、再石灰化（溶け出したカルシウムやリンが歯の表面に戻る作用）を促進する働きがあります。歯の成分の結晶を緊密にして歯を強くする働きもあります。

また、フッ素にはバイオフィームに浸み込んでいく作用があります。薬剤には強いバイオフィームも、フッ素には弱いのです。バイオフィームを除去したあとにフッ素を塗れば細菌の働きが抑制され、予防効果がさらに高まります。